



堺市議会議員（南区）

たつや

みやけ達也

万博の頃の大阪をもう一度！

大阪維新の会
堺市議会議員団

昭和44年1月生れ(46歳)
堺市生れ泉北ニュータウン育ち
堺市立赤坂台小・中学校 卒業
清教学園高等学校 卒業
立命館大学 法学部 卒業

みやけ達也事務所 〒590-0141 南区桃山台3-1-2 桃山台近隣センター内 TEL.072-299-0777

W選挙の結果をふまえ 竹山市長に質問!!

12月2日に本会議にて大阪維新の会を代表し、市長質問並びに各局長に対し質問を行いました。

W選挙の結果、松井大阪府知事と吉村大阪新市長がしっかりと連携し大阪の発展を目指すさなかこのまま堺市だけが取り残されるのではないかとの観点で直接、竹山市長に堺市との両者の連携や副首都推進本部や新たな都構想案の参加や検討、研究について確認しました。

しかしながら連携は認めるが副首都推進本部は不参加、都構想に関しては全く従来通りの百害あって一利なしとの硬直した考えが明らかになり、選挙の結果に対しては重く受け止めるとの答弁から大きくかけ離れ、民意を無視した対応が続くようです。

対話と協調を進める松井知事と吉村市長と比べて、依然として「堺のことは堺で」と孤立し発展から遅れる危機感を感じる市長質問になりました。



反対 新市民会館に新たな税金投入7.2億円！

堺区に現地建て替えを進める堺市芸術文化ホールの質問では従来の**145億円**（建設費用140億円+解体費用5億円）では、まったく足りず新たな追加補正を7.2億円とする案が市より提案されました。

周辺の都市公園や歩道整備でも2億円の市税も必要で入札の不調から、当局の積算の甘さや2000席のホールにこだわる姿勢、足らない建設費用を大切な市税から簡単に7.2億円追加する姿勢が明らかになりました。

そもそも基本的な2000席の設計を見直し、建て替え前の1500席ホールに戻すことで元の145億円でおさえる努力を当局はすべきです、私ども大阪維新の会はこの7.2億円の追加の補正に反対しています。

堺市の外郭団体（堺市文化振興財団）に210億円（50年間×4.2億円）条例に反対します！

そのうえこの新たな市民会館は旧市民会館では1.5億円かかったランニングコストにくらべて2倍以上の4.2億円かかります。この管理に民間の活力を生かすことをせず非公募にて決定する、つまり自動的に堺市の外郭団体（堺市文化振興財団）にこの新会館の耐用年数約50年間払い続けることになります。私は公募を行いそのうえでこの文化振興財団が選ばれたなら理解できるが何もせずに決め打ちすることは単に天下り先の保護につながると指摘し、再考するように意見いたしました。

コンビニでの証明書発行（住民票など）を検討しています！

各区役所に設置している自動交付機だけでなく他市で導入が始まっているコンビニでの各種証明書の発行サービス等を導入すべきではと質問いたしました。

当局は市民サービス向上に向けて検討するとの回答で、実現すれば早朝から深夜まで（6:30～23:00）公的証明書を受けとることができ、各区役所にわざわざ行く必要がなくなります、高齢者や障害のある方、仕事などで区役所に証明書を取りにいけない方には大幅な負担軽減になります。

南区・泉北ニュータウン現役世代へ3つの挑戦!

1. 住まいアシスト制度拡大を要望!

堺市で出生数が全国平均より低下しています、また泉北ニュータウンでは長らく20代から40代までの子育て世帯の転出超過が止まらない状況です。

若年新婚世代・子育て世代向けの泉北ニュータウン住まいアシストが実際の入居予定の床面積を考えたとき全く使えないか、使えてもUR都市機構の一部にしか当てはまらない「絵に描いた餅」になっていることを指摘しました。一刻も早くこの条件の緩和をし、**使える補助制度**とするように要望しました。

泉北ニュータウン住まいアシスト補助

世帯要件および住宅要件を満たす場合
家賃補助が受けられる制度

◎若年夫婦・子育て世帯には

最大120万円(月額最大2万円×60か月)

◎29歳以下の勤労単身者の方には

最大36万(月額最大1万×36か月)

2. 泉北高速鉄道の通学定期補助の早期実現を要望!

竹山市長は2年前の選挙公約で、泉北高速鉄道の通学定期補助を掲げましたが、いまだに具体的な提案も予算も上がっていないません。この補助は、泉北から通学する学生や保護者にとって高額な定期代の負担を軽減し、子育て世帯移住の呼び水となるため早期の実現を要望しました。

3. 南区独自の保育園募集とスピーディーな審査の実施を要望!

南区の保育園は待機児童がほぼない状態です。しかしながら堺市内の保育園の入所募集と審査結果の通知は全区共通の取り扱いです。南区の民間保育園連盟は自ら堺市が行う事務を連盟で行い、「せめて第1希望の結果は年内に通知できる体制を作りたい」と申し出ましたが、堺市は認めません。子どもの保育園への入所が早くわかれれば保護者の就労に有利になるだけでなく雇用側も安心して雇用できます。ぜひ南区で実現すべき施策だと要望しました。

(子ども・子育て新制度で認定こども園となっていますが旧来名称保育園として表示しています。)

泉北高速鉄道新ダイヤについて指摘

12月5日から泉北高速鉄道が新ダイヤにて運行が始まります。質問でも明らかになりましたが南海電鉄の堺東以遠利用者は便利になる一方で以前に比べ中百舌鳥駅に1日30本、特に朝の7時台だけで4本の電車が止まらないことになり地下鉄利用者にとって不便になると指摘しました。

質問の日が12月2日でしたので12月5日ダイヤ改正以後の影響を当局には、しっかり調査して場合によっては事業者に改善を求める必要があるのではと指摘しました。

より便利にお出かけ応援バス

本会議にて要望後、全日使用が実現しましたお出かけ応援バスについて、その後遅滞なくICカード化が進んでいるか?当局に確認しました。

また事業者に堺市より要望していました赤坂台ー新檜尾台循環、城山台循環のバスの泉ヶ丘駅まで連絡する便を**土休日も使える全日対応**にするバスダイヤが実現し、お出かけ応援バスと併用で高齢者の皆様にはいつでも**100円で泉ヶ丘**に行くことが実現しました。

